



きまち*de*いきいき

編集・発行 木町社協・木町民児協編集委員会

福祉委員活動の紹介

木町地区社会福祉協議会
会長 昌浦昌勝

木町地区では、木町地区在住の13名の福祉委員が、民生委員・児童委員19名と共に活動しております。活動はご近所にお住まいの方の「日常生活の支援」「声掛け」「見守り」です。例えば、生活苦・家庭不和・幼児児童虐待・認知症などは、町内会長・民生委員・児童委員など、皆で協力して解決していかなければなりません。福祉委員はそのような時の発信者・通知者でもあります。そのため、いち早く事態に気づき、支援を行えるよう、居住地の近隣を担当します。活動は無理のない範囲で行います。このような福祉活動にご協力いただける方は木町社協(社会福祉協議会)会長昌浦迄ご連絡ください。社協を通して、福祉委員としての活動をお願いすることになります。

担当の民生委員・福祉委員については、木町社協会長・昌浦昌勝にお問い合わせください。

連絡先：

昌浦



小地域福祉ネットワーク活動

木町地区民児協副会長
地域福祉活動推進員 岡順子

家族や親族・隣近所が、助け合い支え合うことで機能していた地域の福祉が、都市化や家族構成の変化でその力を発揮しにくくなっています。さらに、従来の公的サービスだけでは、多様な住民ニーズに答えることが困難です。このように変化した地域社会に大切なのは、身近な住民同士の見守り・助け合いです。社協が推進する「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心して、いきいきと暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、町内会と共に民生委員・児童委員・福祉委員が力を合わせて小地域福祉ネットワーク活動を行って参りますので、皆様のご協力をお願い致します。

現福祉委員としての活動

木町地区福祉委員
押部由紀子

私は一人暮らしの高齢者の方を定期的に訪問しています。お元気ですか、困っていることはありませんか、とおしゃべりが始まるとお子さんの事・お孫さんの事などいろいろなおしゃべりが止まることがありません。街でお会いしたAさんは最近ご主人を亡くされました。「お元気になったの」と声をかけると「やっとどうにか」と。今度いきいきサロンに出席するように勧めました。買い物に行くBさんとお会いして、ついつい長話をしてしまいました。私は街でお会いしたら、積極的に声をかけています。少しでも高齢者の方々のお役に立てたらと思いながら、日々活動しております。

木町地区町内会活動の紹介

七夕飾り

北鍛冶町親交会

北鍛冶町親交会の若い方の、「コロナ禍で行事がなくなってしまったけど、七夕飾りが出来たらいいですね」という言葉から始まった飾り付け。地域の皆様の声掛けで、家にある紙等で短冊を作りました。感染症専門の先生と相談し、安全対策を十分に考慮して、様々な方面からのご協力のお陰で、小さいお子さんからおばあちゃんまでの素敵な七夕作品を北鍛冶町に飾ることが出来ました。地域の皆様と共に作業した時間が楽しく皆様のご協力に対して感謝の気持ちでいっぱいです。



北鍛冶町親交会 七夕飾り



常盤町内会 女川見学

復興の軌跡を訪ねて

常盤町内会

常盤町内会は、甚大な被害を受けはや十年を迎えようとしている「女川町」を訪ねる日帰りの旅を、令和2年9月に企画いたしました。50人乗りの大型バスに28人の参加者で、西本願寺前を9時に出発、女川着10時30分で、語り部ガイドさんと合流。語り部ガイドさんから震災当時の復興の様子を聞き、次の災害の備えに繋がることを学びました。約1時間30分、町内を案内していただき、女川町の震災前からの変わりように大変驚く旅となりました。

芋煮会

春日町会

春日町会は、昔は北材木町と呼ばれる材木問屋・職人さんたちの町でした。現在、約700世帯です。年間を通し、新年会・春日神社祭り・芋煮会など色々な行事に取り組んでいます。今回は芋煮会の紹介です。毎年11月上旬に行っていますが、今年はコロナ禍の影響で、イベントを中止せざるを得ませんでした。この行事はテント・リヤカー・発動機などの防災用の器具の点検・訓練を兼ねており、お父さんたちのテント張り、お母さんたちの山形風芋煮作りなどを春日神社にて例年行います。町会員・通りすがりの方々にも振舞っております。来年は是非とも実施したいです。



春日町会 芋煮会

